

シラバス

指定番号 212

商号又は名称：株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべきその人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	3	3		<ul style="list-style-type: none"> 多様なサービスと介護職の仕事の理解と保険外のサービスについての講義 介護保険の居宅・施設それぞれのサービスと介護職の仕事の講義と実習としての施設見学
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3		<ul style="list-style-type: none"> 職務の理解についての講義 介護施設のサービス提供現場の具体的な様子を実習として当社施設を見学する。 <p>【見学施設】 ルナハート千里 丘の街を 2～3 時間程度見学</p>
③				
④				
⑤				
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト (中央法規出版)
------------	------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 212

商号又は名称: 株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の暮らしを支える専門職であることを自覚し、その尊厳について理解し、自立支援・介護予防等の福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点および、ふさわしくない言動の例を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	4	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の基本的人権と尊厳の理解について ・ICFについて ・QOLについて ・ノーマライゼーションについて ・虐待防止・身体拘束禁止について (DVDも使用する) ・人権を守る為の法律と諸制度
② 自立に向けた介護	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険における自立支援の考え方について ・個別ケアについて ・介護予防と介護保険 ・生活における介護予防の視点について
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・外部の講師による人権啓発講義を行う ・高齢者・障がい者の介護現場での事例を交えながら介護職としての心構えを学ぶ
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト (中央法規出版) 職務の理解についての補助教材DVD
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 212

商号又は名称：株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要な物を理解する。 また、顔語を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えると言う視点から支援を捉える事が出来る。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割・専門性と多職種との連携	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 在宅での訪問介護サービスと施設での介護サービスの特徴と現状、違いについて 地域包括ケアシステムについての基本的理解 介護の専門性と専門職に求められるものについて 多職種連携の意味と意義について 介護にかかわる職種の理解
② 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> 介護職がもつべき職業倫理 職業倫理の意義 介護職としての社会的責任について
③ 介護職における安全の確保とリスクマネジメント	1	1		<ul style="list-style-type: none"> 介護におけるリスクマネジメントとは 事故予防、安全対策について 感染症対策、予防の重要性とその方法について
④ 介護職の安全	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> 介護職の心身の健康管理 介護職の健康と介護の質の関連について
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規出版）
------------	-----------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 212

商号又は名称: 株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と連携			
指導目標	介護保険や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービスの流れや各専門職の役割・責務について一定の知識と理解が出来る。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	4	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景と目的・動向について ・介護保険制度の仕組みと基礎的理解 ・介護保険制度の財源、組織・団体の機能と役割 ・医療・年金制度についての基礎的理解
② 医療との連携と リハビリテーション	3	1.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職と医療行為の実情と経過について ・経管栄養・吸引・浣腸・健康チェック ・在宅及び施設における介護職と看護職の 役割・連携についての理解 ・訪問看護の意義と役割について ・リハビリテーションの理念について
③ 障がい者総合支援制 度およびその他の制度	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・制度創設の理念・背景と目的について ・国際障害分類と国際生活機能分類の理解 ・障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 ・障害福祉サービスの種類と利用の流れ ・障害者の権利を守る諸制度の概要について
(合計時間数)	9	4.5	4.5	

使用する機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト (中央法規出版)
------------	------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 212

商号又は名称：株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力の個々の違いを理解して、コミュニケーションを図ることが専門職に求められることを認識し、初任者として最低限必要な行動行動例を理解できること。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの意義・目的・役割 ・コミュニケーションの技法 ・言語チャンネルと非言語チャンネルについて ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・状況、実態に応じたコミュニケーション技術の実際について。
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・介護における記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点等について学ぶ ・記録による情報の共有化 ・報告・連絡・相談の意義と目的、その具体的方法と留意点 ・コミュニケーションを促す環境 ・会議の意義、種類とその運用
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規出版） 職務の理解についての補助教材 DVD
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 212

商号又は名称: 株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	老化が影響を及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する。 また、老化と共に、社会的環境が心理や行動委与える影響や身体的老化現象と日常生活への影響について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うこころと からだの 変化と日常	3	1.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・ 老化による心理や行動を理解するための視点 ・ 社会的な環境の変化とその心理についての理解 ・ 身体機能の変化について ・ 感覚機能の変化について ・ 咀嚼機能・消化機能等の体の各部位の変化について ・ 精神機能の変化について
② 高齢者と健康	3	1.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の疾患と日常生活上の留意点 ・ 高齢者に多い疾病の特徴と原因の理解 ・ 介護保険の特定疾病
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト (中央法規出版)
------------	------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 212

商号又は名称：株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性を認識し、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1.5	1.0	0.5	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアの理念 介護職の視点の変化等認知症ケアの現状について
②医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理	1.5	1.0	0.5	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の概念 認知症の原因疾患とその病態 原因疾患別ケアのポイント 認知症の予防と治療、健康管理について
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 中核症状、行動・心理症状について 生活環境が及ぼす認知症への影響 認知症の人への対応と関わり方の基本について
③ 家族への支援	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> レスパイトケアの必要性和重要性 家族へのエンパワメント 家族の持つ力の活かし方
(合計時間数)	6	3.5	2.5	

使用する機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規出版）
------------	-----------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 212

商号又は名称：株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	障害の概念と ICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の概念と ICF ・ 国際障害者分類と国際生活分類について ・ 障害者福祉の基本的理念
② 障がいの医学的側面、 生活障害などの基礎 知識	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害の種類とその主な症状につて ・ 知的障害の心理的概念とその原因 ・ 精神障害についての定義と特徴、介護の留意点
③ 家族の心理、かかわり 支援の理解	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の障害受容を支援するための視点 ・ 介護負担の軽減について家族を取り巻く社会環境をハード面ソフト面から考える
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規出版）
------------	-----------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 212

商号又は名称：株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

科目番号・科目名	(9) ころとからだのしくみと生活支援技術 I 介護に関する基礎的理解			
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、理論と法的根拠に基づく基礎的な介護技術が実践できる。 尊厳を保持し、その人らしい暮らしをその人の在宅・地域等で継続出来る様に支援できる介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	3	1.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づく介護について ・介護の見方、考え方の変化 ・介護の法的根拠について ・介護を担う資格について
② 介護に関するころのしくみの基礎的理解	3	1.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶に関する基礎知識について ・感情と意欲に関する基礎知識について ・自己概念と生きがいについて ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因について
③ 介護に関するからだのしくみの基礎知識	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・人体の各部の名称と働きに関する基礎知識について ・骨・関節・筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用について ・中枢神経と体性神経に関する基礎知識について ・自律神経と内部器官に関する基礎知識について

使用する機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規出版）
------------	-----------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術 II 自立に向けた介護の展開			
指導目標	<p>介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、理論と法的根拠に基づく基礎的な介護技術が実践できる。</p> <p>尊厳を保持し、その人らしい暮らしをその人の在宅・地域等で継続出来る様に支援できる介護技術や知識を習得する。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
④生活と家事	6	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 生活と家事の理解 介護職の行う家事援助の専門性について 家事援助のポイント 家事援助にかんする基礎的知識と生活支援について 調理・洗濯・掃除・買い物・家計管理等具体的な支援の考え方と内容について
⑤快適な居住環境整備と介護	6	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 快適な居住環境整備と介護 安心して快適に生活するために必要な環境の整備について学ぶ 高齢者・障害者特有の住環境整備と福祉用具の活用について、福祉用具の使い方の演習 生活空間と介護、住宅改修について 福祉用具の活用についての視点を学ぶ 住宅改修、福祉用具活用と介護保険の関連について
⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<ul style="list-style-type: none"> 整容の必要性とそれに関連するこころとからだのしくみについて。 整容の支援技術について 洗面、整髪、髭、爪の手入れ、化粧、衣服の着脱の知識の学習と技術の取得の為の演習
⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<ul style="list-style-type: none"> 移動、移乗の基礎知識と福祉用具の活用法について 利用者、介護職にとっての負担の少ない移動、移乗の支援について 移動、移乗を阻害する要因の理解とその支援方法 社会参加の留意点について 実際に福祉用具を利用して、介護技術を取得することを目的とした演習
⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<ul style="list-style-type: none"> 食事に関する基礎知識 食事に関連した、こころとからだのしくみについて 食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法 誤嚥・窒息の防止、脱水の予防について 食事の介助の演習 口腔ケアの目的と効果について 楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法 心身の機能低下が食事に及ぼす影響について 食事と社会参加の留意点と支援について
⑨入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<ul style="list-style-type: none"> 入浴・清潔保持に関連する基礎知識 入浴の必要性和意義 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ

				<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・清潔保持に関する用具の活用 ・入浴介助技術の習得にむけての演習 ・手浴・足浴、洗髪、清拭の演習 ・楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法 ・心身機能の低下が入浴・清潔に及ぼす影響について
⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識 ・排泄に関連したところとからだのしくみ ・排泄環境の整備と関連する用具の活用方法の基礎知識と実用の為の演習 ・一部介助、全介助、おむつ交換を含めた排泄の介助技術の習に向けての演習 ・便秘、下痢の基礎知識と対応について ・排泄を阻害する要因の理解と支援方法について
⑪睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・さまざまな睡眠環境と用具の活用方法 ・ベットメイキング、シーツ交換等、環境整備の技術の演習 ・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法 ・睡眠不足が及ぼす影響や加齢や疾病が睡眠に及ぼす影響についての知識
⑫死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	5	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識 ・終末期の変化の特徴について ・生から死への過程 ・死に向き合うところの理解 ・死に対するところの変化のディスカッションを行う ・苦痛の少ない死の支援
Ⅲ生活支援技術演習				
⑬介護課程の基礎的理解	6	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・介護課程の目的・意義・展開 ・根拠に基づいた介護を展開するために必要なこと ・アセスメントから始まる介護課程の流れの理解 ・チームアプローチのディスカッションを行う
⑭総合生活支援技術演習	6	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を通じて、利用者の課題を理解し、心身の状況に応じた介護を提供する視点を学ぶ ・事例を用いたディスカッションを行う
(合計時間数)	75	63	12	

使用する機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規出版） 車いす・介護ベッド・ポータブルトイレ・簡易浴槽・介護用品一式
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 212

商号又は名称：株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、学んだことについて再確認を行い、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①振り返り	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 初任者のあるべき姿の確認 ・ 今後継続して学ぶべきこと ・ 介護職に求められるもの ・ 現場の介護職員の実務についての体験談を話してもらい、ディスカッションをする。
②就業への備えと研修終了後における実例	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後継続的に学ぶことについて ・ 研修終了後における継続的な研修について ・ 研修で学んだことを実践の場で実技見学する 【見学施設】 下記の施設で実技を見学する ルナハート千里 丘の街
③				
④				
⑤				
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規出版）
------------	-----------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

